

# 市役所改革と行政改革

## はじめに

厳しい経済状況にあっても、市民の皆さんの声に応えることができる持続可能で自立的な中津川市を築いていくためには、より少ない人員と予算でよりよいサービスを提供することができるよう行政の仕組みを変えることが不可欠です。

そのためには、まず、市役所改革(市職員の四つの気質の打破)を行い、これまで市が行ってきた業務を見直し、徹底した行政のスリム化を図り、市民の多様なニーズに応えることができるよう政策重視の行政へ改革しなければなりません。

また、行政改革を着実に進めるためには、具体的な目標を持って計画的に推進する必要があります。このため、「何を、いつまでに、どのように」改革するかを明らかにする工程表「ロードマップ2009」を作成しました。

作成に当たっては、「市民による行政改革委員会」のご提言やご意見との整合を図りながら、それぞれの項目について手順と到達水準を明らかにすることに主眼をおき、その範囲は市政全般にわたっております。

今後は、このロードマップに沿って、改革の実現に向けて着実に取り組んでまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

中津川市長 大山 耕二

- ◇副市長を本部長、部長を本部員とした市役所改革推進本部を設置し、市役所改革を強力に進めます。(平成21年6月19日設置)
- ◇市職員の四つの気質を打破し、職員の能力と意欲を高め、より少ない人員と予算でよりよいサービスを提供することのできる力強い市役所への変革を職員一丸となって実現します。

### 四つの気質の打破(意識改革)

- ・横並び気質(仕事をやろうがやるまいが待遇がかわらない)
- ・定常業務気質(諸手続き業務を黙々とこなす)
- ・個の気質(個人の殻に閉じこもり組織で仕事をしない)
- ・待ちの気質(外に仕掛けずに内で待つ)

### 意識改革の主な取組み

- ・課長候補者試験や係長昇格試験の実施
- ・人事評価(能力評価や業績評価)
- ・定常業務の見直し(IT化や臨時職員の活用)
- ・業務計画書による仕事のマネジメント
- ・政策担当者を育てる(公約・政策担当)
- ・市民の声を聞く仕組みづくり

### スクラップ&ビルドのための火付け作戦の展開

※平成21年度に市役所の12部署でそれぞれ1課をモデル課として選定し、小さな火(きっかけ)が大きな火(活動)に広がっていくイメージの「火付け作戦」を展開します。

#### 【スクラップ】

#### 今の業務

- ★一旦ゼロにして現在の業務を次のように仕分けする
- ・止める、減らす→「切る」
- ・臨時職員対応、IT化する、委託する→「移す」
- ・職員が行うべきもの→「絞る」

#### 【ビルド】

#### 市民ニーズにあった取組み

- ・市民ニーズの把握と課題のピックアップ
- ・取り組み方(政策)の決定
- ・業務計画書を作成し進める

### 行政改革

- ・業務のIT化
- ・事務事業の評価
- ・民間活用の推進
- ・市民との協働の推進
- ・公の施設の見直し
- ・市有地の有効活用
- ・第三セクター等の自立化
- ・病院経営の改革

### 職員・組織・財政の改革

- ・定員管理計画や組織のあり方づくり
- ・計画的な財政運営や財政指標の公開
- ・借金の削減
- ・補助金、交付金等の見直し
- ・財源の確保対策(補助金の獲得、土地の売却、広告事業など)